

かゆいところに手が届く！ —多摩・島しょ自治体お役立ち情報—

「かゆいところに手が届く！多摩・島しょ自治体お役立ち情報」は、市町村の職員が日頃の業務で感じている疑問や他の自治体、民間企業などの動向、今さら聞けない行政用語など、知りたいと考えている事項について自治調査会が調査し、問題点や課題などを明らかにすることを目的に実施しています。

自治体における動画の活用 ～シティプロモーションの観点から～

調査部研究員 齋藤 太一

1. はじめに

皆さんは自治体が発信する動画を見たことがあるでしょうか。近年、単に自治体情報を盛り込むだけでなく、見る人の心をつかむ話題性に富んだ動画が増えてきています。動画数だけで言えば、総務省が発信するポータルサイト「全国移住ナビ」^[1]に登録されているだけでも、752自治体分（平成29年5月22日現在）の登録があります。全国には1,700超の自治体が存在していますが、特に移住希望者へ自治体をPRする手段の一つとして、多くの自治体で動画を活用していることがわかります。

さて、これらの動画は単なる自治体情報の発信だけではなく、定住促進、交流人口増加、地域に対する住民の愛着形成、企業誘致などいわゆるシティプロモーションの考えのもと、様々な効果を目的としていると言えます。そして、動画による発信力やそこからの展開に大きな効果が見込まれるからこそ、動画を活用するのだと考えられます。一方で、様々な動画が世の中に溢れかえっている今日、効果を発揮せずに役目を終えてしまう動画も少なくはありません。

そこで、本稿ではシティプロモーションの観点から見た自治体の動画活用について、先進自治体や多摩・島しょ地域自治体へのアンケート結果を踏まえ、今後の取組のヒントを示していきます。

2. 見る人の心をつかむ話題性に富んだ動画

では、シティプロモーションの観点から見た自治体の動画とはどのようなものなのでしょうか。全国の自治体から4つの注目すべき事例を紹介しましょう。

(1) 南知多町（愛知県）

みなみちたのうた♪ウミひとココロ ver



<出典>南知多町提供資料

南知多町の動画は、「全国移住ナビ」の市町村プロモーション動画ランキングで1位を獲得しています。動画には、住民によるダンスや印象的なリズムに変顔、「南知多あるある」など様々な要素が盛り込まれています。地域が盛り上がり、それが全国へ広がっていくことを目指して制作されており、実際に地域住民が地域の魅力を再認識するきっかけとなりました。また、動画制作の目的の一つはポータルサイトへの誘導です。今後の取組としては、地域住民が加わる情報発信チームにより、ポータルサイトでの情報発信に力が注がれています。

(2) 宇治市（京都府）

【ゲーム実況動画編】観光アクションゲーム
「宇治市～宇治茶と源氏物語のまち～」



<出典>宇治市提供資料 <出典>宇治市ホームページ
(<https://www.city.uji.kyoto.jp/0000017540.html>)
(平成29年6月21日確認)

宇治市の動画は、2D横スクロールの完全オリジナルゲームの実況プレイ動画^[2]となっています。ただし、実際にプレイできるゲームは公開されていません。他に例を見ないゲームを利用した自治体動画ですが、ゲーム内では世界遺産を含む観光名所や名産品をしっかりと紹介しています。また、閲覧者へのインパクトを重視し、市への興味や好感度の向上を目指しています。自治体動画として新たな視点で取り組んだ拡散力のある動画と言えます。

(3) 呉市（広島県）

呉一市一 GONNA 呉一市一



<出典>呉市提供資料

呉市の動画は、呉市の認知度を上げるべく市が制作したミュージックビデオです。曲は、1995年にリリースされたTRFのヒット曲「CRAZY GONNA CRAZY」の替え歌で、動画タイトルが「呉一市一 GONNA 呉一市一」となっています。動画からポータルサイトまで「見て呉（くれ）」、「来て呉（くれ）」など市を徹底してPRしており、キャラクターも含め随所に呉（くれ）

が登場します。また、キャラクターの「呉氏」もそのフォルムやキレのあるダンスで非常にインパクトがあります。動画が、市の認知度を高めるきっかけとして機能していると言えます。

(4) 松山市（愛媛県）

マッツとヤンマとモブリさん
—七つの秘宝と空飛ぶお城—



<出典>松山市ホームページ
(<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/citybrand/anime/originalanime.html>)
(<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/citybrand/anime/matsuyamacamera.html>)
(平成29年6月21日確認)

松山市の動画は、市が制作したオリジナルアニメーションで、市の魅力を全国に発信することを目的としています。アニメーション内には道後温泉や松山城など市内の有名観光地が登場します。また、愛媛県や松山市にゆかりのある有名人が数多く出演するとともに、市民も声優や歌声で参加し、まさに松山市の魅力を総力で発信している動画と言えます。そして、AR^[3]アプリや各種イベント、さらには続編動画も制作され、動画を活用した取組が展開されています。

これら4つの事例は、地域資源をPRすることで観光客誘致や定住促進などにつなげることを目的に制作された点では、他の多くの自治体動画に共通しています。しかし、その斬新さや内容の面白さが相まって大きな話題となっている点、そして動画公開だけにとどまらない取組が行われている点で参考となります。本稿はこれらの動画を参考に、ポイントを押さえながら述べていきます。